

マイケル J ローズ ニュースレター 2016年 秋号



こんにちは。

今回、ニュースレターを翻訳しながら、深く入ってきたこと、それは、意識して生きることの大切さ、です。

ぼんやり生きてると潜在意識、つまりこれまでの思い癖や価値観、漠とした不安や恐れの影響を受けてしまいます。潜在意識に陥らないよう、「意識して生きる」を取り組みます！いえ、取り組んでいます♪

マイケル著「A Glimpse of Something Greater」の本は、やっと動き始めました。

新しい出会い、新しい流れ、いつもチャレンジがあります。

人生の流れを信頼して、結果を恐れることなく、前へ進みたいと思います。年内には、出版のご案内ができると思います。楽しみにしてくださると嬉しいです。

インテンシブセミナーがはじまりました！

新しい出会い、新しい再会を楽しんでいます♪

Choose Love で素晴らしい毎日の創造を！

たくさん愛をこめて 大亀安美

ご挨拶

by キャロリン



インテンシブツアーの間、私は「いごちのよい空間」にいたることができませんでした。

インテンシブ中に、皆の前で話すようと、何年も、マイケルが私をしつこく励まし続けてきました。私は避け続けてきましたが、今回は、「私の横に座って停滞したままと、皆の前で話しをし、成長する、どちらがいい？」と、マイケル。彼は私を追い詰めました！

正直なところ、座り続けて、停滞するほうが魅力的でした。それでも、マイケルから小さく見られたくないし、何よりも、彼を黙らせたかったので、私は渋々同意したのです。

嫌だったのは、皆の前で話すことではなく、「何を話すの？」でした！

私は、若い頃、何年も、仕事でカメラの前に立って話しました。しかし、いつもそこには暗記したらよい原稿があり、原稿を拡大して見せる装置もあり、また、キーワードを記したカードもありました。自分の言葉で話したことはなかったのです。

信頼と決めて、私は思いきって飛び込みました。誰もが、経験していると思いますが、「快適ゾーンから引っ

張り出される」ような何かをする・・そこに思いを巡らすだけでへこみそうになります。実際に行動を起こしているときのほうが、よっぽどましです。

思考について;

人生とは、あれこれ考えなければ、もっと簡単になります。必要な思考のことではありません。あらゆる状況、過去、現在、未来がどうだったか、どうあるべきだったか、どうなるだろうか(ああ、なんてこと・・・恐れ・・・恐れ・・・恐れ)、といったことをぐるぐる批評する思考です。

私は、思考のおしゃべりをやめることを学び、何年も静かにしていたのに、話をする機会が近づいてきた時、再び、思考のおしゃべりが私を乗っ取りました。

私は、自分に質問しました。

「どうしてこんなにぐるぐるとあれこれ考えるの? どうして恐れを感じるの?」

すると、まったく違う質問がわいてきました。「あれこれ考えることが、私の役に立つ?」

すると、私の中にある変化への抵抗が、意識の成長への抵抗が見えました。人生の傍観者になるほうが、参加するよりもはるかに簡単です。マイケルを敬愛する妻として、彼の近くに座り、マイケルが話しをしている間、彼に微笑みかけるほうが、はるかに簡単です。私の潜在意識は、変えたくないと思死でした。

ええ、ハートの深いところで、私が、話をするタイミングであると・・「知」っていました。しかし、私のとりとめのない思考は、この静かな「知」を大きな声でハイジャックしていたのです・・しかし、意識は「知」っています。私は、本当の私ではなく、このとりとめのない思考と私と同化していました。

真の自由は、思考からの自由です・・・

思い癖や繰り返す思考のおしゃべりからの自由です。

私たちを支配するとりとめのない思考からの自由です。

とりとめのない思考は、私たちを不調和へと追いやります。

過去への後悔、未来への恐れからの自由です。

今この瞬間よりも、あっちのほうがよさそう・・からの自由です。

あれこれ考えないことによって、私たちは、異なる意識状態へと向かうのです。

それで、私は、話すことについてあれこれ考えるのをやめました。そして、自分に、できる、できると話しかけました。うまくできると。インテンシブーつ終わるごとに、私は、段々リラックスしていきました。それに、思っていた以上に、皆さんからうれしい反応がありました。

マイケルのパワフルな男性性のエネルギーに、私のパワフルな女性性のエネルギーが加わるとバランスがよくなるのでは、と思います。

「できると思えばできるし、できないと思えばできないのです」このようにして、私たちは自分の現実を作っています。ですから、直面していることがなんであれ、あなたの情熱が向かうところが何であれ、あなたにはできるのです。ただ前へと進みましょう。

あなたの抵抗と快適ゾーンを壊してしまうのです。

愛の流れに身を投げ、ハートのささやきに耳を傾けましょう。

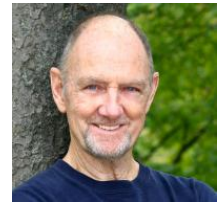
決して、悪い流れにはなりません。

頂きを越えると、そこにはいつも新しい地平線があるのです。

愛をこめて、いつも キャロリン

質問と洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問： 大いなる自然は、どのように意識の成長をするのでしょうか？

洞察: もっとも明快でシンプルな答です。意識して生きる植物も生物も、この瞬間を生きています。だから意識において成長します。潜在意識から生きるとき、意識の成長はありません。つまり、自然のすべては、この瞬間を生きています。ですから自然は意識において成長します。自然は、自身との意識的な関係を表現しています。

残念ながら、人類は、一日の約94パーセントを潜在意識から生きており、そのため、なかなか意識の成長はありません。意識の成長のためには、意識して生きる必要があります。多くの人は、苦しみや苦難をのり越えないと、意識は成長しないと信じています。

間違いです。私たちは、苦しむ必要はありません。トラウマも苦難も不要です。そのことが、意識の成長に違いをもたらすことはありません。

私たちに必要なすべては、この瞬間にある、この瞬間を生きる、です・・・とてもシンプルです！

自然に知的なプロセスはありません。

自然のすべては、意識の叡智のプロセスにそって生きます・・・人類は例外です。私たちは、潜在意識から、知性から生きる種になりました。世界の海を汚染してもかまわないというのは叡智でしょうか。世界中の都市が息苦しくなっているのは叡智のせいでしょうか。世界中の川の水を飲めなくしているのも私たちの叡智でしょうか。

いいえ、そのようなことを続けさせているのはすべて、潜在意識の知的な愚かさによるものです。政治機構に叡智はあるのでしょうか。いいえ、ありません。このような例は、いくらでもあげることができますが、十分でしょう。人類によるこういった愚かしい事例の何一つ、そこに意識の成長はありません。

私たちは、意識的な選択を大切にする時代を生きています。それは、自分を尊重する意識的な選択です。本当に自分を大切にするなら、あなたはすべての生命と人類を大切にするようになります。

意識において成長するには、ただ、ただ、意識的であることが必要です。これが、インテンシブで教えていることの基本です・・・どうしたら意識して生きることができるのか、です。幻想から真実へ、それが私たち一人一人の旅です。

* * * * *

人生とは、意識して生きる、気づいている、この瞬間にあることについてです。
勿論、あなたは、意識して愛を選択するたびに、あなたの人生を創造しているのです。

質問: 肉体をもって生まれて死に、次にまた肉体をもって生まれるまでの間も、私たちは、成長できるのですか？できるのなら、どうして、人生でこんな苦しみを自分に課すのでしょうか？

洞察: 物質的な転生と転生の間も、成長できますが、私たち誰もが成長するという意味ではありません。人生において、私たちの魂の表現が異なるように、いわゆる「死後」から、次の「誕生」までの経験もすべて異なります。二つとして同じ形の雪の結晶がないのと同様に、人間の人生は、二つとして同じではありません。そして、私たちそれぞれの「死に方」が違うように、いわゆる「死後」も、また異なります。

あなたが意識して生きるとき、意識は成長します。この意識の成長があなたの物質的人生に影響を与えます。意識して生きると、また、あなたの死ぬプロセスに、いわゆる「死後」と次の「誕生」までの間の非物質的・メタフィジカルな生命・人生にも影響を与えるのです。

あなたのものしてほしい真理とは、「あなたの人生のあらゆる瞬間に、あなたは、あなたの人生のあらゆる瞬間の方向と中身を作り出している」です。

素晴らしい真理の一つです。あなたが、肉体を持って生きているときも、非物質的・メタフィジカルに生きているときも、真実です。あなたは、あなたの人生を生きている魂であり続けます。

どうして、私たちは、地球上で、肉体を持って自分を痛めるのかという質問については、あなたは どうしてですか？あなたの質問からすると、あなたにとって人生は、優しいものではなかったようですが、あなたがあなた自身の人生の創造主です。

しかし、あなたの言う通りです。多くの人にとって、人生は、ある意味、拷問のようなものです。私にとってもそうでした。しかし、私は、自分で拷問にかけていたことを受け入れるようになりました。私は、自分が好きではないことに、次第に気づきました。

それまでの私の思考、一人言は、いつも否定的で、批判的で、裁くものであることに気づきました。この種の思考は、低いレベルの否定的な感情とつながっています。そして、ここが肝心です。私たちの人生を作り出しているのが、このひどい思考なのです。大体、私たちは、犯していない罪でも、自分を罰します。

ですから、あなた自身との関係を変えるようお勧めします。自分に懲罰を与える人ではなく、愛を与える人になりましょう。あなたが、あなたのベストフレンドになるのです。

愛と敬いから、あなたのことを考え、ありのまま美しい人であるあなたへの、深い賞賛と感謝を育てましょう。あなたの罪と思っているもののすべてを許し、あなた自身への賞賛の歌を歌いましょう。そして、いつも、いつも、あなた自身のために、意識して愛を選択しましょう。

質問: 自信と真の謙虚さについて明確にしてくださいませんか？

洞察: 多くの方は、謙虚であるとは、エゴ、自我がない、と考えます。一方、自信があるとは、傲慢で自己中心的であるような印象をもっています。

まず第一に、他の人があなたのことをどう考えようと、ほっておきなさい。誰にも、全員の承認を得るような生き方はできません。スピリチュアルに教えるものとして私は、傲慢に思われるに違いないときもあります。それでもかまいません。裁く人々とは、私が何を言うかに関わらず裁くでしょう。これは、彼らが自分自身を裁く人たちであることの反映に過ぎません。「誰も不快にさせない」生き方などはできません。

セミナー中に、私の話に否定的に反応する人たちがいます。そんなとき、私は、彼らの意識を揺さぶっているのです。彼らにとっては贈り物です。

何年も前、共同体で暮らしていたときですが、人々は、私に「ハンター・リリーはとても謙虚だ」とよく言ったものです。彼は、メンバーの一人で私の良き友でした。私は、謙虚からはほど遠い存在で、かなり嫌われ者でした。私は、よくメンバーと対峙したのですが、とにかく、私は、ハンターのようになろうと決めました。謙虚になるために、ハンターの真似をしました。半年ほど過ぎたある日、共同体で暮らすピーターが、話かけてきました。「君は変わったね。謙虚になった」

とてもうれしくなりました。川へと降りていき、私の先生である川に話しかけました。

「謙虚になったと言われました」

川にせせら笑いができるなら、きっとそうしたでしょう。「あなたは、謙虚ではない」川は続けました。「つまらないものになっただけ」

直感からすぐに、川が正しいとわかりました。そのとき、私は、本当につまらない人間でした。自分に正直ではありませんでした。半年間、無駄な努力をしたのです。

「謙虚さをあなたに示そう」川が語りかけてきました。

すると、川が私の中を流れるのを感じました。そのパワーは、すべての理解を超えたものでした。パワーは、とても素晴らしく、空中高く、渓谷すべてを抱えることができるほどのパワーでした。

私は、これが私であるとわかりました。しかし、はるかに私を超えたものでした。

そのパワーが私の内にありました、しかし、それは私のパワーではありません。

「これが謙虚さというもの」川は続けました。

「あなたのパワーを知り、あなたの偉大さを知り、しかし、瞬時たりとも、自分のものにはしないことだ」

「偉大さは、あなたの内にある、『あなたの考える自分』の中にはない」

その後、私は、私自身に戻りました。

まだまだ学ぶべきことがたくさんありました。

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。

英語での質問はキャロリン宛: Carolyn@michaelroads.com

日本語は、こちらへ: info@michaelroadsjapan.com

新刊の予告 ～仮タイトル：幻想から覚醒へ～

2017年4月英語版出版予定

待望の一冊です。マイケルがインテンシブで伝えている内容を分かりやすい言葉でシンプルにまとめます。楽しみにしててください。

「幻想から覚醒へ」より抜粋 アニータとの対話

「潜在意識から生きると、人生にストレスを作り出します。しかし、人々は、潜在意識からのストレスに気づいていません。人間のストレスを、メタフィジカル・多次元的に見るなら、それは、「影の自己」のようであり、否定的です。

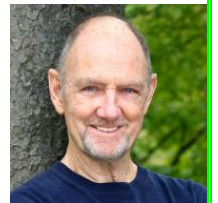
だから、そういった人がすべて否定的という意味ではありません。潜在意識から生きると否定的な結果を作り出し、意識して生きると、肯定的な結果を作り出します。ですから、長期にわたる潜在意識からのストレスは害となるのです。それは、病気を引き起こし、寿命を短くします」

「潜在意識から生きているから、必ずしも否定的な人という意味にはならないのですね」アニータが尋ねました。「なりません。ほとんどの人は一日のほとんどを潜在意識で生きています。それでも、明るい人も、暗い人もいます。潜在意識的であっても、死ぬまで肯定的であり、実りある人生を生きることができません。ただ、私が言いたいのは、潜在意識から生きていると、あなたのエネルギーは、マイナスの影響を受けることになります」

「あなたが、インテンシブのツアーを長く続けても疲れにくいというのは、ほとんど意識しているから？意識的に生き、その恩恵を受けているからですね？」

「ええ、そうです。私は、長年抱えていたストレスから自由になりました。ストレスは、エネルギーを枯渇させます。しかし、自分で作り出したものです。誰もが、自分でストレスを作り出し、エネルギーを消耗するのです。だから、ぼんやり潜在意識から生きるのではなく、できるだけ意識して生きることが大切なのです」

意識のコラム by マイケル



とてもシンプルな質問がありました。

「悲しみを感じたことがありますか？あるなら、どのように対処しますか？」と。

覚醒した人も感情から自由ではありませんが、人々と同じような囚われ方はしません。覚醒とは、永遠のこの瞬間に続いているものであり、今という永遠の瞬間に、広がり続けているものです。

私が初めて覚醒したのは、何十年も前のことになりますが、そのときのことを、良く覚えています。そのとき、とても嬉しい喜びと自由を感じました。鳥が果てしなく広がる空へと飛び立つような感覚です。その直後に笑い。そ

の笑いは忘れられません。それまで笑ったことがないかのように笑いました。思い切り解き放たれました。3日ほど、時折、大きな声で笑うことがつづき、後は、クスクス際限なく笑いました。その後、落ち着きを取り戻し始めました。笑いの種は、私であり、以前の苦しみの記憶がすべて、さらなる笑いを誘いました。

一ヶ月ほどすると、私は人類の悲しみを感じ始めました。これは、苦痛でした。誰も、人類の圧倒的な悲しみを感じる必要はありません。どうして私が、悲しみ、孤独、陰鬱なエネルギーを感じるのか分かりませんでした。とてもパワフルで、どう対処したらよいかも分かりませんでした。次第に、私はいくつもの人生を、かなり否定的な焦点から生きてきたことに、これは、習慣的になっていた私の焦点が戻ってきているのだと、わかりました。

しばらく、私は、その悲しみを深く感じるようにしました。人類の痛みへの思いやりをもとうと、悲しみや孤独を感じようとしていました。けれども、私は、悲しみや孤独の罫にはもう閉じ込められてはいません。私のエネルギーではないと、わかっていました。これは、私の選択です。数ヶ月、私は、悲しみに耐えました。逃げたいとは思いませんでした。

そしてある日、人類の悲しみから、私は自分の焦点をシフトさせました。平安と自由に焦点をあてました。不安も、心配もまったくありません。もう悲しみに焦点をあてないと決めました。平安と自由のなか、私は、人類の喜びを感じていました。

飛行機は、離陸後、よく厚い雲の層を通り抜け、輝かしい陽光溢れる空へと出てきます。その輝かしい陽光は、いつもそこにあります。人類の惨めさや苦しみの雲がどれほど分厚くとも、悲しみがどれほど深いものであっても、その上には、人類の喜び、陽光があります。いつも、あるのです。多くの人が囚われている、閉じ込められている雲よりも、はるかに、はるかに高いところに、です。

そして、10年前のことです。前妻が亡くなり、私は厚い雲の層に投げ込まれました。ひどく自分を痛め、高みに飛ぶことが出来ませんでした。私が作り出した妻への執着がとても重たく、私を悲しみへと引きずり降ろしました。

勿論、執着は間違いでも、悪くありませんが、私たちを幻想に閉じ込め、そこで人類の苦しみと深く結びついてしまうのです。執着が悲しみの、苦しみの雲を維持するのです。

私は、自分の囚われを認め、執着を手放すのに一年かかりました。執着は、愛ではありません。感情的な執着は、恐れがもとにあって、愛とはまったく違うのです。執着の鎖を手放したとき、私は、再び、雲の上高くへと、輝かしい自由の光のなかにいました。

多くの人は知っていますが、その後、私は、再婚しました。今、キャロリンへの執着はなく愛で満たされています。いつまでも消えない悲しみを作り出す感情的な執着はもうありません。愛は自由です！

愛の歌をあなた自身に歌うとき、愛は、あなたをすべての悲しみ、囚われ、幻想から自由にするでしょう！

人生のあらゆる瞬間に・・私たちは創造しています！

地球上のすべての生命は、広大であり、多次元的です。

地球上のすべての生命は、物質的なものと物質界を超えたメタフィジカルなものが織り込まれているのです。

次のことを忘れないでください・・あなたは人生のあらゆる瞬間に、人生のあらゆる瞬間の方向性と中身を作り出しています。

このことには、いわゆる過去も未来も含まれています。すべてのことが、この瞬間に同時に起きているのです、たくさんレベルで。私たちは、あらゆる思考、感情、反応、信念などによって人生の道を作り出しています。

そしてもう一つ、個といったものはありません。個人の体があるのみです。もっと大きく、もっと幅広く考えましょう。もっと広大なスケールで考えましょう。分離の考えはすべて手放すのです。

すべての生命はエネルギーであり、エネルギーは情報です。そのすべての情報は、際限なくコミュニケーションしています。私は、このコミュニケーションに耳を傾けることを学びました。生命あるもののほとんどが意識して生きており、エネルギー・情報を受け取り、すべてに返しています。いつも、です。

しかし、私たち人類は、潜在意識的に生きることが多く、コミュニケーションが聞こえないし、注意も払いません。つながりが絶たれ、アウトサイダーになっています。この広大さは、知的には理解できるものではなく、意識的であることが必要です。

これがインテンシブセミナーの目的です。

集団的幻想から連れ出し、真理・真実とつながる
より広大な現実とつながる、
人々の本質、大いなる存在とつながることです。

愛と光の中で マイケル

発行:マイケルローズジャパン 事務局 大亀安美/中村舞 TEL /FAX 0897-34-8914
URL: <http://www.michaelroadsjapan.com> e-mail: info@michaelroadsjapan.com